



THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO, SUNRISE

T O S Y ' S

東京サンライズ・ワイズメンズクラブ

設立 1989年2月18日
チャーター認証日 1989年5月 2日
チャーターナイト 1989年5月28日

TOKYO YMCA YAMATE CENTRE
2-18-12, NISIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO
PHONE 03-3202-0321

第一例会：第2木曜日 午後5：00
(但し、12月・4月は山中湖センターで土日)
第二例会：翌々週火曜日 午後5：00

2025年11月号ブリテン 第417号

会長 小山久恵
副会長 大谷博愛
書記 御園生好子
会計 大森裕子
直前会長 御園生好子
担当主事 鳩山哲郎

2025-2026 年度主題(Thema)

Our Motto 国際標語
国際会長 エドワード・オン
アジア太平洋会長 田上正
東日本区理事 山下真
あずさ部部長 山口直樹
サンライズ会長 小山久恵

IBC: 台北ユニオン DBC ; 東広島・京都プリンス
「信念、愛、行動」
「共に、より強く」 (シンガポール)
「信念と愛を持って行動しよう」 (熊本)
「ワイズのらしさ再発見」 (十勝)
「垣根を低くし、活発な活動を」 (武蔵野多摩)
「例会の出席を第一としよう」

11月第一例会のお知らせ

とき 11月13日(木) 17:00~19:00
ところ 東京YMCA山手センター
かいひ 500円

◆プログラム

開会点鐘 会長
ワイズソング・ワイズの信条 一同
卓話『日本の近代詩に影響を与えた讚美歌 島崎藤村の例』
卓話者 日本現代詩人会理事 長新延拳氏
協議・報告・連絡事項 会長・各担当者
にこにこ・一分間スピーチ 出席者全員
閉会点鐘 会長

11月以降の予告

11月25日 第二例会
12月6日 山中湖クリスマス会
(富士五湖クラブとの合同)

11月のハッピーバースデー

鳩山 徹郎さん 11月7日
立田 佳明さん 11月13日

10月例会出席者

10名
(出席率 76%)

10月第一例会報告

今村 由紀

10月9日(木)17時から山手センターでサンライズ第一例会が行われました。
台風接近による交通機関が心配されましたが、ビジター4名を含め16名が出席しました。
本日の卓話者は、東京YMCAユースボランティアリーダーの丸山啓太さん。「AYCで学んだことと今後について」というテーマでユースリーダーとしての5年間、AYC2025熊本、AYC2023ネパールでの体験を話されました。



30分間でしたが大変中身の濃い内容で、AYC2025実行委員リーダーとしてゼロからプログラムを作り上げたこと、その中で得た様々な国の人との「コミュニケーション」、「平和」「気づき」、そして「今後の夢」を、多くの

北東部フォーラムに出席して

御園生好子

写真を交えたわかりやすい、素晴らしいプレゼンでした。丸山さんは現在東京医大の5年生で、大学の勉強、実習などかなり忙しいと思われそうですが、その合間をぬってYMCAの活動で休日は地方に出かけたり、また趣味はダンス、ミュージカル鑑賞も楽しんでいるとのこと若いとはいえそのパワフルさには驚かされ、大変感心しました。熱い質疑応答の後、テースティングタイム、そして今回は一人30秒間のにこにこ・スピーチ、小山会長の挨拶で閉会しました。



その後は、「三国志」で二次会があり、11名が参加、9時過ぎから丸山啓太さんも加わり、遅くまで歓談しました。(三国志は今月いっぱい閉店とのこと、残念です。)出席者はメンバーが、小山さん、御園生さん、柴田さん、長津さんご夫妻、大森さん、大谷さん、菰渕さん、立田さん、鳩山さん、今村、ビジターが、小原史奈子さん、浅羽俊一郎さん、山口直樹あずさ部部长、次回の卓話者の新延正憲さん、そして卓話者の丸山啓太さんでした。

2025年10月4日、コラッセふくしま（福島市）に於いて開催

三田庸平北東部長の開会点鐘に始まり山下真東日本区理事挨拶、鈴木一郎北東部会計による開会の祈り等、

ユース発表 AYC 参加者

ユース発表 YVLF 参加者

アピール 第29回東日本区大会 実行委員会

ユースの発表がメインでした。

昼食 指定された席でしたので今迄、交流の無かった方とお話し出来ました。

午後は分科会に分かれて

○福島 YMCA 設立準備会

○ユース

○福島市町中散策

私は町中散策コースを選びました。

信夫山公園からの展望、山の下を新幹線のトンネルが在り新幹線が来ると子供のように歓声をあげました。

下山して「古関裕而記念館」に寄り懐かしいメロディーにドラマ、東京オリンピック等を思い出しました。

二次会も予約してあって、久しぶりの方、思わぬ方たちと盛り上がりました。

大宮から福島迄は1時間程度ですが自宅から大宮まで2時間かかりました。



10月第二例会報告

大谷博愛

10月21日、10月第二例会が山手センターで行われました。

12月6、7日に予定されている山中湖クリスマスが大きなテーマでした。サンライズ主催ですが、山中湖センターのスタッフの協力を必要とするイベントです。さらに、富士五湖クラブとの合同例会でもあります。現地スタッフにお願いすること、合同例会の概要を確認しました。食事は自前なので寄せ鍋をすることになり、分担も決めました。

その後、いつも通りに翌月第一例会の打ち合わせ、ブリテン内容と執筆担当の割り振り、近々行われるイベントへの参加者を確認し、散会しました。

例会終了後、いつも通り飲食をともにしながらの懇親会を早稲田通りを渡ったところにある新たな店でやりました。参加者のほとんどが満足したようなので、これからの定番の一つに入れてもよさそうな店でした。難点は12、3人を越える大人数は無理かなというところ です。

少し悩んだが、「逢いたい。還暦を祝ってあげたい」という想いが強くなり「出席」の返答をした。それから「元6年2組」の総勢19名のラインの輪ができ、ラインを使っている情報交換が始まり、音信不通だった子どもとの情報交換もできた。クリスマスや正月には、今まで受けた事のない様な素敵なラインメッセージが交換され私を楽しませてくれた。ところが、囲む会が近づくにつれ楽しみと同時に一抹の不安を感じる複雑な心境になった。しかし、そんな不安は再会と同時に吹き飛び、会が進むにつれ盛り上がり最高の会となった。12歳で送り出したあの可愛い子ども達も何と60歳。感慨もひとしおであり当時の事が走馬灯のように蘇ってきた。一人一人が河原での土手滑り、ロング休み時間での様々な遊び、私から叱られた事等々楽しそうに話してくれた。会は盛況で温かいものとなり、幸せな気持ちで帰路に着いた。その後もラインの輪が繋がり、孫誕生、大阪在住者からの万博報告、ドジャース試合観戦、転職、悩み事等々折に触れラインの交換が続いている良き仲間の輪だ。楽しみの少なくなっている私にとって幸せ感を感じられる大切な輪である。

山中湖センターの様子

山中湖センター 荒木 暁

ひよこのつぶやき vol:269

教え子とのラインの輪

所沢クラブ 岡部 八千代

大学卒業後小学校教員の道を選び退職までの38年間を教職という遣り甲斐の有る仕事を全うした。その間、1000人近くの子供たちとの出会いと別れがあり、子ども達から多くの事を教えられ、喜びと幸せを受けた。一人一人の子ども達の顔が当時のまま浮かび様々な事が思い出される。その中でも最初に卒業生として送り出した子ども達との思い出は特別だ。当時、私も20代後半の熱気盛んな頃で子ども達と学習以外にも様々な課外活動が出来た。5、6学年と2年間の担任で、別れはとても悲しかったが、卒業後も数名の子ども達との年賀状の交換、人生の節目節目に報告に来てくれる子、ふらっと来てくれる子と交流が続いた。

そんな中、昨年、幹事役の一人から「中学校の同窓会が行われ、岡部先生に逢いたい。岡部先生を囲む会をしたいので出席してくれますか」とラインが届いた。最初は

10月に入り今年には富士山に初冠雪を見る事が出来ました。雪山と青空と紅葉で山中湖村も山中湖センターも鮮やかに彩られています。

夏のキャンプも落ち着き、秋を楽しむ団体が山中センターに遊びに来てくれています。夏のキャンプの振り返りを行いながら秋のキャンプを楽しむ姿が印象的です。

秋には人にストレスを与える虫も少なくなり、美しい音色を奏でてくれる虫が増えてきます。少し肌寒くなった屋外には気持ちの良い音色と、過ごしやすい気候がとてもリフレッシュさせてくれます。

さて、10月、11月になるともう間もなく山中湖センターも今年のクローズを迎える季節となります。クローズしてからは次年度に向けてセンター内の大掃除を行います。今年も利用して下さった皆さんがまた気持ちよく戻ってくれる様にスタッフ一同心を込めて掃除します。なかなか行えない修繕もするなどして山中湖センターが活気付く様に準備して参りたいと思います。いつでも綺麗な

山中湖センターになるように今後も努めて参りたいと思います。

YMCA ニュース

山手センター 鳩山徹郎

★【食品のご寄付お願い】第18回フードパントリー
12月20日開催★

「[東京YMCA下町こどもダイニング⇒](#)」は12月20日、「第18回フードパントリー（食品の無料配布）」を開催します。「フードパントリー」は、主に江東区在住のひとり親世帯や生活が困窮されている世帯に無料で食料を配布する活動です。今回は20世帯に配布予定です。食材1つでもけっこうですので、ぜひご支援いただきたくお願いいたします。

【寄付の方法】

寄付金と物品のご寄付を受け付けています。

寄付金の受付方法は[こちら⇒](#)

物品は、お届け先を下記チラシでご確認いただき、事前にご連絡の上で持ち込みまたは郵送ください。

*Amazonの「ほしい物リスト」から食品を購入してご寄付いただくこともできます。

[Amazonでのご寄付はこちら⇒](#)

【寄付受付締切】2025年12月16日（火）までにお願
いします。

【寄付いただきたい食品】

※賞味期限が2か月程度の余裕のあるもの（2026年3月以降のもの）

※常温で保存が可能なもの

※未開封であるもの

- ・米
- ・乾麺
- ・インスタント食品
- ・缶詰
- ・調味料
- ・レトルト食品（どんぶり系、シチュー系、※カレーの場合は甘口）
- ・お菓子

・日用品 など

※その他の食材・日用品に関してはお問い合わせください。

皆様のご協力、ご支援をお願いいたします。



<YMCA ニュース>

<https://tokyo.ymca.or.jp/news/2025/10/20251024-7.html>

★【ボランティア募集】国際協力街頭募金（11/15）*
会員関係者対象★

バングラデシュほか途上国の子どもたちを支援するため11月15日、新宿駅前「東京YMCA国際協力一斉街頭募金」を行ないます。

この募金活動は、バングラデシュYMCAが運営する「働く子どもたちの学校（NFPE）」の支援のほか、アジア各国で貧困や紛争に苦しむ子どもたちの支援を目的に毎年行なっているものです。

東京YMCAでは、会員や学生、園児や登録メンバーなど、関係者100人程が街頭に立って一斉に募金を呼びかけると同時に、私たち自身が世界のさまざまな問題について考える機会としています。

15分程度でもかまいません。ぜひ一緒に街頭募金活動に参加ください。

【日時】

2025年11月15日（土）12:00～16:00

*部分参加歓迎。ご都合や体力に合わせてご参加ください。

【場所】JR新宿駅周辺（小雨決行）

JR新宿駅南口の街頭募金本部に直接お越しください。のぼり（国際協力募金）が目印です。

※23 年度より本部は東口ではなく南口にかわりまして。

<YMCA ニュース>

<https://tokyo.ymca.or.jp/news/2025/10/20251017-4.html>

あなたの声があの子の未来をひらく

あなたの呼びかけで集まった寄付が、バングラデシュの子どもたちの「学ぶ機会」として届きます。

東京YMCA 2025
国際協力街頭募金
ボランティア募集

11/15 [SAT] 12:00-16:00

東京YMCA国際部
MAIL: kokusai@tokyoymca.org
TEL: 03-3615-5567
< 当日連絡先 090-6119-8416 >

- 当日は、伊勢谷駅前口の国際基金本部にお越しください。のぼり（国際協力募金）が目印です。
- スタッフが募金活動のやり方、活動場所などのご案内をいたします。
- ご参加は短い時間でも構いません。
- 悪天候等により中止の場合は、当日朝8時に東京YMCAホームページに掲載します。
- 当日事務局が撮影する写真や動画を、東京YMCAの機関紙、ホームページ、SNS等に掲載させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

編集後記

ブリテン 11 月号をお届けします。この間までの暑さはどこへやら、一転して寒気が入り込んできました。あまりの気温の変化についていけず、体調を崩す人があちこちで見受けられます。日本は四季の国ではなく、夏と冬の二季の国に移行しているのではないかと思わせられる今日この頃です。

今月の「ひよこのつぶやき」は、所沢ワイズメンズクラブの岡部八千代メンに書いていただきました。教え子の皆さんとの心温まる素晴らしい交流のお話をありがとうございました。

ハロウィンが終わり、町は早くもクリスマスの飾りつけが始まっています。今年も残すところあと 2 か月足らず、悔いのないようにお過ごしください。